

〔協定加盟事業所からの事業所紹介〕

東海ノア協力協定加盟事業所間の相互理解を図ることを目的に、安全活動への取組状況等について加盟事業所からの紹介記事を掲載します。

—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—

「日揮の HSSE (衛生・安全・セキュリティ・環境) 活動のご紹介」

日揮株式会社技術研究所

日揮株式会社技術研究所は、1984年に原子力分野に特化した大洗原子力技術開発センターとして設立されました。その後、1997年に他の研究所との機能統合を行い、当社の事業分野全般に係わる総合研究所として、事業所名を技術研究所に変更しました。

当社は、日本揮発油として 1928年に設立された日本最初のエンジニアリング会社です。1976年に、社名を日本揮発油株式会社から日揮株式会社に変更しました。

戦後復興の中、本格的にエンジニアリング事業を開始し、日本初のグラスルーツ製油所の新設プロジェクトを完成させ、エンジニアリングコントラクターとしての評価を確立し、日本経済の高度成長を支えました。

当社のメインビジネスであるプラント・施設の EPC（設計・調達・建設）事業では、オイル&ガス分野を中心にインフラ分野を含め、日本、アジア、中東、アフリカ、欧州、北米、南米など世界 80 カ国 2 万件にも及ぶプロジェクトの遂行実績を有しています。

オイル&ガス分野では、石油・天然ガス開発のアップストリームからダウンストリームに至るすべての領域をカバーし、日本の石油会社はもとより、オイルメジャーや産油国の国営石油会社にとってなくてはならないパートナーとして信頼されています。

オイル&ガス分野で培ったエンジニアリング技術とプロジェクトマネジメント力を駆使し、発電プラント、原子力関連施設などのエネルギーインフラ分野、非鉄金属などの産業インフラ分野、医薬品工場、病院、環境施設などの社会インフラ分野においても、国内外で数多くのプロジェクトを遂行しています。

今回は、当社の HSSE 活動についてご紹介します。なお、当社では、一般的な HSE（衛生・安全・環境）に Security（セキュリティー）の S を加え、セキュリティーにも配慮しております。

1. 基本理念

2015 年 8 月に普遍的な HSSE に対する基本理念を確立し、グループ全体で HSSE のレベルアップを図ることを目的として以下の「日揮グループの HSSE 基本理念」を制定しました。

HSSE(衛生・安全・セキュリティー・環境)基本理念

すべての人が、健康で安心して働き、家族のもとへ無事帰る

HSSE スローガン

Respect & Care

HSSE 行動規範

自ら進んでルールを守る

お互いを気づかい、働きかけ、感謝する

一人ひとりがリーダーシップを発揮する

近年はエネルギープラントなど大型プラント設備の設計・建設や操業に対し、事業者や社会による健康・安全・環境に対する関心が高まっており、我々コントラクターへの要求も厳しくなっています。当社は、「HSE(衛生・安全・環境) 世界 No.1 コントラクター」を目指し、その達成に向けて努力することで顧客の信頼を得るとともに、企業の社会的責任を果たしたいと考えています。

2. IIF (Incident Injury Free) 活動

IIF 活動とは、「建設工事に携わる誰もが、無事故で元気で家に帰る」、「お互いをケアする」という基本思想のもと、“安全は強制されるもの”ではなく、“自ら選択するもの”という一人ひとりの姿勢・意識の改革を通して、組織（集団）全体に安全文化を構築していく活動であり、当社の現場責任者から現場作業員に至るまで、すべての現場関係者が推進役となります。日本国内の現場では いいふれあい(IIFureai)運動 として同様の活動を展開しています。

3. HSSE 意識の醸成と HSSE 教育

プラント建設現場、特に海外ではさまざまな国籍、言語をもつ作業員が、一つのプロジェクトで日々2万人を超える規模で建設工事に携わっている場合もあります。現場では高所での作業や大型機器の据付など危険を伴う作業も多く、建設現場における安全確保が、工事遂行における重要な目標の一つとなります。当社は、現場で働く社員はもとより、協力会社も含めた全てのプロジェクト関係者に対して、安全文化の構築と啓蒙活動「IIF (Incident Injury Free) 活動」を積極的に進めています。

更に、全ての従業員が常に HSSE 情報、顧客や法律の HSSE 要求事項、安全実績、過去の災害の教訓、災害の調査結果とそこから導き出された根本原因に関心を持つように、これらの情報を社内情報通信ネットワーク、教育および社内キャンペーンなどを通じて周知しています。また、各プロジェクトチームにおいては、プロジェクトの HSSE 要求事項の徹底を図るため、HSSE オリエンテーション、HSSE プランおよびプロジェクト毎の特別教育を実施し、プロジェクトに携わる全ての従業員に周知徹底を図っています。

当社は、建設現場に出張・駐在する社員に、初級工事安全衛生環境監理講座の受講を義務付け、HSSE の基本知識、HSSE マネジメントプログラム、HSE 方針や年度毎の HSSE 目標などの周知徹底を図っています。また、これらの教育プログラムの中で、実際に過去発生した災害事例を取り上げ、災害の原因、再発防止策をグループで検討し発表させるワークショップを取り入れ、安全意識の醸成に努めています。

さらに建設工事現場においても、顧客のほか、当社社員、協力会社社員、現場作業員など建設工事に従事する全ての関係者に対して HSSE 教育を実施しています。教育内容は、新規入構者教育、監督者向け HSSE 教育、クレーンによる揚重教育、足場の組み立て・解体教育、閉所作業教育、危険要因とリスク分析教育、危険予知教育、ツールボックスミーティング教育、ファーストエイド教育、消火訓練と緊急時避難教育、作業許可教育、および廃棄物処理教育で構成されています。

当社のホームページにて詳しく紹介しておりますので、是非ご参照ください。

⇒ http://www.jgc.com/jp/O6_csr_hsse/O2_hse/index.html